

授業記録

授業日時	平成 24 年 3 月 12 日 (月) 第 5 限	学部・学年	中学部 2 年								
教科・単元など	技術・家庭科 コンピューターの利用										
単元・題材の目標	コンピューターを活用し、自作カレンダーを作成する。										
授業場所	□本校 □国立 □府立 □京大 □ニ赤										
	□普通教室 □PC 教室 ■特別教室〔家庭科室〕 □体育館 □その他〔 〕										
授業タイプ	□クラス共有 □グループ共有 □遠隔 ■制作 □交流 □収集										
	□習熟 □その他〔 〕										
ICT 活用の場面	□導入 ■展開 ■まとめ										
ICT の活用者	□教員のみ □児童生徒のみ ■教員・児童生徒とも										
IWB・PC の活用	教員の活用 ■有り □無し					児童生徒の活用 □有り ■無し					
		5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	教員										
児童生徒											
TPC の活用	教員の活用 □有り ■無し					児童生徒の活用 ■有り □無し					
		5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
	教員										
児童生徒											
協働教育 AP 活用 □利用なし	□①画面操作転送 □②ロック機能 ■③画面共有 Skymenu										
	□④資料共有 □⑤資料の協働編集 □⑥アドバイス機能 コラボノート										
その他活用機器 ■利用なし	□⑨プロジェクタ □⑩実物投影機 (OHC・書画カメラ)										
	□⑪ビデオカメラ □⑫デジタルカメラ □⑬プリンター □⑭インターネット □⑮CD-ROM □⑯DVD-ROM □⑰その他〔 〕										
活用コンテンツ	Word										
ICT 支援員の支援	■フル支援 □ポイント支援										

【授業の流れ】

	指導内容	指導ツール
導 入	前時の続きの授業。 本時で制作を終了するため、完成をめざすよう促す。	IWB
展 開	作業開始。 各自が TPC でカレンダー作成に励む。	IWB, TPC
まとめ	作成進捗の把握のため SkyMenu を利用する。	IWB, TCP SkyMenu

【備考】

TPC を使用してカレンダー作成の最終日。データが仕上がれば、印刷し、台紙に糊付けし、木材で作った台座に立てて完成という流れ。TPC でビジネスアプリを扱うのは少々やりにくい部分があるが、何度か同じ作業をしているので慣れてきた生徒が多い。

【画像による記録】

画像	説明
	<p>IWB にカレンダーの雛形を提示し、作業内容の確認をした。</p>
	<p>カレンダー作成中の様子。</p>
	<p>授業の全景</p>
	<p>各生徒の進行状況把握のため、SkyMenu の画面共有機能を使い、IWB 上に提示した。</p>